

平成 26 年度
地域の“まちづくりびと”養成講座
(入門編)

つながるまい!! 防災・減災たすけ♡

第 2 回

『まちづくりってなんだろう？

～名古屋の防災・減災について学ぶ(その 2)』

日時：平成 27 年 2 月 8 日(日)

時間：13 時 30 分～16 時 30 分

場所：松栄コミュニティセンター

余寒なお厳しき折に小雨も時折降る中、昭和区の松栄コミュニティセンターにて「平成 26 年度地域の“まちづくりびと”養成講座(入門編)」の第 2 回講座が開催されました。

この講座は、都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、陶生町自主防災会代表、名古屋都市センター、講師の葛山稔晃さんを実行委員として講座の企画・運営を行っています。

♡ はじめに & アイスブレイク

はじめに、進行役のまちづくりびとにより、本日のスケジュールと進め方などを確認し、次に、講師の葛山さんによる前回の講座の振り返りのあと、アイスブレイクを行いました。

・ 1 分当てゲーム

今回のアイスブレイクは集中を高めるためのものです。「1 分当てゲーム」は、最初に全員が目を閉じ、自分が 60 秒経ったと思った時に手を挙げます。60 秒より早く挙げる人もいれば、近いタイミングで挙げる人もいました。



まちづくりびとによる「ワークショップのマナーとルール」の説明



1 分当てゲームの様子

♡ 「防災・減災について学ぼう!!」

テーマ：「市内で起こりうる災害の種類と可能性、その対策について」

特別講師：名古屋大学減災連携研究センター特任教授 ^{もり}護 ^{まさふみ}雅史 氏

名古屋大学の特任教授である護雅史さんを特別講師としてお迎えし、「市内で起こりうる災害の種類と可能性、その対策について」というテーマでお話を伺いました。講義はスライドと配布資料を参照しながら進められました。

講義の後は質疑応答が行われました。



スライドで説明をする護雅史氏

① 名古屋市の特徴と過去の災害

古代から現在までの名古屋の地形図を参照しながら、名古屋の成り立ちについて学んだあと、名古屋及び周辺で過去に発生した主な災害を振り返りました。

② 将来に想定される自然災害とその特徴

過去に発生した大震災における各地域の死因の違いや、南海トラフで発生する地震に対する名古屋市の被害予測などについて学びました。また、液状化現象、震度7の地震発生後のまちがどうなったかについて、過去の映像を視聴しました。

③ 災害を乗り越え魅力あるまちを持続するために

災害に強く、持続可能な個性と魅力のあるまちの実現に向けて、どのようなまちづくりを行っていけばよいかが語られました。

♥ 減災まちづくり情報システム（ISDM）の紹介

「減災まちづくり情報システム（ISDM）」は、地域力向上や地域の多様なまちづくり活動での活用を目的として、名古屋都市センターと名古屋大学減災連携研究センターが共同で構築を行っているツールです。

タブレットが2人に一台渡され、名古屋都市センターの職員の説明を聞きながらISDMの役割を学びました。



ISDMを操作する参加者の様子

♥ ワークショップ「防災・減災・話し合い」

講師によるKJ法、ブレスト、ファシリテーターについての説明のあと、グループに分かれて「災害からわが身を、住民を、地域を守るために必要なものって何？」というテーマで話し合いました。進行役、時間管理、発表役など、それぞれに任された役割を果たしながら、活発に話し合いが進められていきました。



KJ方を行う参加者の様子

♥ 発表タイム

ワークショップで話し合った内容について、グループごとに発表しました。

内容にはそれぞれのグループの個性が表れており、多くの意見が飛び出して充実した発表となりました。



発表を行う参加者の様子

最後に、講師による講座の振り返りと次回講座の案内、アンケートの記入を行い、全員で会場の片づけをして第2回の講座を終了しました。